

みどりの風

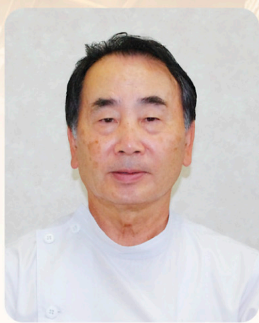


医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
 社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
 URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

編集責任者：理事長 中村 猛
 編集：季刊誌発行委員会

第22号御挨拶

理事長 中村 猛



皆さん こんにちは。

厳しい猛暑が9月に入っても連日続き、この原因はやはり地球温暖化の現象の現れか、又、それとは関係ない太陽からの気まぐれな一時的な熱放射のせいかなど考え、しかし、日常のスケジュールをこなし、元気な毎日をと努力しているうち、9月半ばを過ぎ、

やっと朝夕がしのぎやすく、涼しさを感じる気候になってまいりました。

民主党の代表戦で菅首相の再選が決まり、選挙戦での夢の公約を早く、これから実現に向かって実行していたきたいのが、我々国民の願いだと思います。

特にマニフェストにうたった医療福祉の社会保険分野の公約は、この3ヶ月程凍結状態で、何ら前に進んでないとのことで、愕然と致します。

国民を代表するその意志を反映する政治家主導の政治を謳っているのであれば、迅速に適正に実行してもらいたいものです。

さて、私どもの医療法人みどり会は昭和54年6月に開設して、丁度30年目の節目も過ぎ、10年誌、20年誌に

引き続き創立30周年記念誌を発行することになりました。

20年から30年にむけての10年間は組織も拡大して、その歩みのボリュームが増えましたが、何とか編集・校正のもとまとめて、30年の節目を越えて、これから私どもの法人が地域社会に目指す目標の一つの基盤にしたいと思っております。

私ごとで恐縮ですが、この秋で70歳の古希を迎えます。

「人生七十古来稀(まれ)なり。」からの名称としては、現在では普通の通過点ですが、先日は高校の同級生とお祝いの集まりをして、元気でこれからの人生を、友情と信頼を温め、しっかり生きていこうと語りました。又、70歳は運転免許証の高齢者受講の適応となり、先日は教習所で同年代の方々と講習を受け、すっかり打ち解けて、5歳で終戦を迎え、戦後の激変を生きてきて戦争が遠くなったことをしみじみ語り合いました。

時間はどんどんおかまいなしに経っていきます。一寸先の将来も分かりませんが、やはり、生き抜いてきた過去の蓄積が未来を導き開拓し、光を与えることを信じ、健康で頑張らねばと思っております。

スポーツと芸術の秋の訪れで、日本のこの四季の変化のありがたさを満喫して過ごしていくつもりです。

平成23年夏 いこいの里隣にグループホーム開設予定

松樹会 岡崎 基

ようやく、暑い夏から秋らしい気配が漂うようになってきましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

当法人では本年1月に枚方市よりグループホーム整備事業者の採択を選定いただき、開設にむけて準備を進めております。

特別養護老人ホームいこいの里の隣という立地条件やグループホームの運営の経験を活かしながら、

- ①一人ひとりの自宅での生活が感じられる空間作り
- ②環境に配慮した施設作り
- ③火災・防災避難に適した建物作り

といったコンセプトを基に基本設計を作り上げました。

この8月に一般競争入札を行い施工業者が決定しま

した。今後は詳細な建築に向けた打ち合わせを始め、来年夏頃の開設に向けて運営面においても具体的な検討が始まります。

また、ご利用を希望される皆さまや、情報提供を検討していただいている事業者の皆さまへは年内を目途にご案内を行う予定です。特色ある施設作りを行って参りますので、今後とも当法人のグループホーム開設にご期待下さい。



枚方市東部DMネットワーク開催

院長代理 高橋 輝

糖尿病の病診連携（病院と診療所の連携）を促進するため、今年度より枚方市医師会を中心に糖尿病地域連携パスの運用が開始となりました。診療所からの紹介を受け入れる病院として、関西医大枚方病院、市立枚方市民病院、枚方公済病院、中村病院の4病院が選ばれています。

糖尿病地域連携パスという書式は作られたのですが、診療所の先生方から見れば病院がどのような診療を行っているのかが見えないと紹介しにくいと考えられ、病院と診療所との交流を行う機会が必要と考えました。そこで、地域的に近接している中村病院と枚方公済病院が共同で糖尿病連携会を開催することで同意し、「枚方市東部DMネットワーク」を立ち上げることになりました。DMとは糖尿病の英語(Diabetes Mellitus)の略語で、初回の会合を平成22年9月11日に枚方公済病院にて開催し、16名の参加者を集めました。

両病院の紹介に続いて、特別講演として当院に勤務されています濱崎暁洋先生（京都大学糖尿病・栄養内科助教）をお招きして「インクレチンとその関連薬～基礎と糖尿病治療

への期待～」と題してご講演を頂きました。インクレチン関連薬は既存の薬剤とは異なる効果を有する新薬として期待されており、インクレチン研究を世界的にリードしている京都大学の最新の知見を踏まえてお話頂きました。当院より内服薬が効かなくなった症例への対応を紹介させて頂き、参加された開業医の先生方にも積極的に議論に加わって頂きました。

このような取り組みを通じて診療所との連携を密にし、枚方市東部地域での糖尿病診療を充実したものにするため貢献して参りたいと考えております。



大阪医療ソーシャルワーカー協会 初任者研修

医療ソーシャルワーカー 石井 理恵



私たち医療ソーシャルワーカーは、医療や福祉が必要となった患者様・ご家族からのあらゆる相談に応じ、その問題解決の支援を行う役割を担っています。

今期より、医療ソーシャルワーカーとしての質を高め、患者様へよりきめ細やかな支援を行えるよう、大阪医療ソーシャルワーカー協会の初任者研修に参加しています。

この研修は、知識・技術の習得と、ソーシャルワーカー間の交流・連携を深めることを目的に開催されています。また、その役員や講師を担う経験豊かなソーシャルワーカーの、誠実さや真剣さ、熱意などに触れ、多くの刺激を受ける大切な機会にもなっています。役員や講師の方々には、経験年数を重ねても初心を忘れず、あらゆる問題から、ひたむきに患者様を守ろうとする姿勢がありました。その姿に感銘を受け、自分自身も、いつまでもその様な大切な想いを失わずにしようと心を動かされました。

研修期間は約1年半と長期に渡りますが、最後まで意欲的に参加し、この機会を余すところなく患者様への支援に活かしていきたいと思えます。

今後も知識や技術の向上に努めるとともに、患者様やご家族が、より温かさや身近さを感じることでできる医療ソーシャルワーカーであるように、また、患者様の立場になり、分かりやすい支援やアドバイスができるように努めてまいります。

何か心配事やご不安がございましたら、遠慮なくお気軽にお声かけ下さい。

中村記念病院

患者様の笑顔に励まされて～

レクリエーション委員会 委員長 南野 美幸

レクリエーション委員会では、中村記念病院に入院されリハビリに頑張っておられる患者様の「リハビリ意欲の向上を図る」ことを目的に、そして患者様の入院生活援助の一環として様々な行事を企画し活動しています。

恒例の行事としては、毎年、お花見、七夕、クリスマス会、もちつき大会を開催しています。今年はこの4大行事に加え、8月に夏まつりを開催し、ボランティアグループ「スターダスト河内」の皆様に参加していただきました。

小学2年生を中心に高校生までの13名を迎え、河内音頭、紙芝居、手遊びなど披露していただきました。

一生懸命踊る小学生の姿に涙ぐみ、紙芝居・手遊びのかわいらしさに自然と顔もほころび、患者様やご家族の皆様と共に楽しい時間を過しました。

企画を進めることに頭がいっぱいの中、ふと参加された患者様の楽しんでおられる笑顔を見たとき、ほっとする自分がいて、嬉しく、励みになりました。

これからも様々な行事を企画し、その行事を通して患者様に

少しでも楽しんでいただき、気分転換や入院生活にハリが出来るよう、患者様と職員が一つになって共に楽しめる活動ができればと思っております。



河内音頭



お集り頂いた患者様



紙芝居

通所リハビリでの活動について

通所リハビリ 課長代理 林 千妃呂

なごみの里デイケアでは、リハビリ以外の活動として「組み紐」「押し花アート」「一筆書き」「絵手紙」「習字」「カラオケ」「小集団レクリエーション」「頭の体操」「映画鑑賞会」「囲碁」「将棋」「麻雀」等を行っています。

これらは、全員が集団で行うものではなく、個々の利用者の個性や希望に合わせて取り組んでいただいておりますが、私たちはリハビリの一環と考え、実施しています。

例えば、カラオケは声を出し、口を大きく動かすことによる言語訓練の一環としています。習字や絵手紙は利き手を動かして手指の機能を維持・向上していただくための作業療法の一つとしています。

利用時間内に専門療法士より受けていただけるリハビリは限られておりますが、自主的レクリエーション活動に参加することによって、様々な作業に楽しんでいただき、より一層身体機能の向上に繋がればと思っております。

ご参加には一部負担金の発生するものや、身体状況によってはご利用できない活動もありますが、私たち職員もお手伝いさせていただきますので、皆様も一つひとつがリハビリに繋がっていると意識しながらご参加下さいませようお願い申し上げます。



在宅部門

ラポールのその先へ ～幸せな在宅介護のために～ ケアプランセンターなごみ 管理者 佐藤 嘉枝

やっと涼風が心地よい季節になりましたが、今年の夏は長雨の後、猛暑の日々が続き、皆様にとっても不快な毎日だったのではないのでしょうか。

私たちが高齢者のお宅に訪問しますと、猛暑の中、クーラーも扇風機もつけていない部屋で過ごされている方、閉め切った部屋で汗を流しながら過している方々がおられるかと思えば、冷えるから…と布団に湯たんぽを入れている方まで見受けられます。

そのように、「いくら何でもこれでは！」という状況で暮らしておられる方に複数お目にかかりました。

私たちケアマネは、ご利用者の自宅へ毎月1回以上訪問することが義務付けられていますし、ご利用者側も私たちの訪問を受け入れていただくことが介護保険をご利用いただく上での義務となっております。

介護サービス利用が問題なく行われているかの確認は勿論、私たちにとってはご利用者がご自宅で問題なく安全に過ごされているか、また、ご家族も気付かない中に新たな課題が起こっていないかを確認する目的もあります。

またそれ以上に、ご利用者側としては自宅でのありのままの姿を見せることによって取り繕うことのない信頼関係を結ぶという目的もあると私は考えております。

在宅サービスはあくまでも自宅で安心して生活するために提供されるサービスです。介護する側・される側どちらも安定した状態で生活できることが一番幸せな状況であると思っております。

私たちケアマネジャーは、皆様とラポール（信頼関係）の手を結び、幸せな在宅生活を一日も長く続けていただけることを願っています。

枚方市地域包括支援センターみどり

日々感じること、思うこと

社会福祉士 岡 久美子



本年5月に地域包括支援センターに入職して、様々なケースに出会い日々学んでいる最中です。

入職前は、社会資源やサービスを、困っているのに、知らない人がたくさん居て、そんな困っている人に、こんなサービスがあるという事を知らせてあげたい、そして利用してもらえれば日常生活が楽になる、

と思っていました。実際は、それとは少し違い、知らない方はたくさんいて、「こんなサービスがありますよ」と説明しても、「今は、いいです。」「もう少し。がんばれます。」という声の意外に多いことに驚きました。皆様本当は、自分自身の事は、自分でやりたいと思っていて、少し手を貸すだけで、変わっていきけるのだと思い、よく言われている「その人らしく生きること」とは、こういうことで、社会福祉士として、

権利擁護業務の一つでもあるのだと感じました。

そして、もう一つ、入職前より楽しみにしていたのが、地域との交流です。入職して初めての交流は、地域の高齢者を対象にした消費者被害の防犯教室でした。教室では、警部補の講義を、皆様、真剣な様子で聞いておられました。また定期的に開催している、憩いの場・生きがい作りとしてのうたごえ広場や絵手紙教室では、昔を思い出して歌をうたう方、絵手紙を描く方、歌や絵は苦手といいながら、一生懸命参加されている方。皆様それぞれ、思いは違うのですが、終わる頃には笑顔になって、「また、来ます。」と一言くださいます。まだまだあるのですが、今、みどりコレクションに取り組んでいます。地域で作品を募集して、展覧会を開催するのですが、地域包括支援センターの場所やどんな所かを皆様にも知ってもらい、尋ねやすい場所作りを目指します。

敬老の日を迎えて

ケアハウスつくしんぼ藤阪 施設長代理 高杉 孝博

先月、敬老の日を迎えた松樹会の各施設では、人生の大先輩がこの1年ご健在で過ごされ、長寿を重ねてこられた事へのお祝いが行われました。

さて、今年は日本各地で百歳以上の高齢者の実生存問題が発覚し、社会問題にまで発展しました。しかし、つくしんぼ藤阪には正真正銘、今秋に101歳を迎えられる大変お元気な男性がご生活されています。明治42年10月15日生まれの寺方捨次郎様です。健康長寿を支える秘訣について伺いますと、「特別に何かをしてきた訳では無い。強いて言うなら、農家の苦勞を知る者は米粒一つを粗末にすることなど出来ない」とのお話。確かに寺方様のご生活を拝見すれば、好き嫌いの無い食生活だけでなく、全てを大切にしようとする生活信条が伝わってきます。

我々職員は、今後も人生経験豊富な皆様からの英知をご伝授いただきながら、健康長寿を支えられるご援助に努めて参りたいと思います。



御歳101歳のお元気で長寿 寺方 捨次郎 様

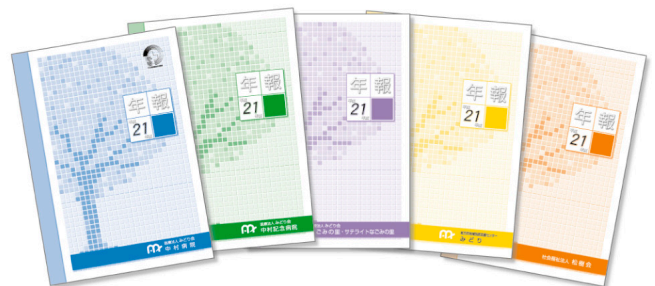
医療法人 みどり会、社会福祉法人 松樹会 平成21年度年報発行

平成21年度年報、医療法人みどり会（中村病院、中村記念病院、なごみの里、枚方市地域包括支援センターみどり）、社会福祉法人松樹会の5誌の年報も平成18年度から重ねて4年目の発行となりました。

各病院・施設では毎年4月に各部門より運営方針発表会を行い、職員に周知することとしています。この年報は事業計画の結果報告といえるものとなっており、現状を知って頂くために外部の医療機関等の皆様へも発行させていただいております。

内容的にはまだまだ不十分な点があると思いますが、ここ数年での診療体制、看護体制はじめ、医療・福祉機能も着実に充実してきているという実感もあります。スタッフが積み上げた年間業績集で、今後の地域医療・福祉における我々のサービス提供、質の向上の糧にしたいと思っております。

御意見、御批評を賜り皆様から信頼される施設を目指して努力を続けて参りますので、今後とも御指導賜りますようお願いいたします。（記：本部企画 松田）



平成22年度 永年勤続表彰並びに、平成21年度 業績団体グループ表彰

平成22年10月6日（水曜日）中村病院・中村記念病院・なごみの里にて平成22年度永年勤続者表彰を実施予定。今年度は勤続10年（15名）・勤続15年（3名）・勤続20年（3名）の合計21名の職員に表彰状及び記念品を授与。同時に業績団体グループ表彰も実施予定。表彰グループには理事長賞・医療法人みどり会賞・社会福祉法人松樹会賞として表彰状及び金一封を授与。（記：人事部 廣江）

各施設連絡先

社会福祉法人 松樹会

- 特別養護老人ホーム いこいの里 072-898-2197
- デイサービスセンター いこいの里 072-898-2197
- 居宅介護支援センター つくしんぼ 072-898-2196
- つくしんぼ長尾 072-868-2190
- デイサービスセンター 長尾 072-868-2190
- 有償運送事業（福祉タクシー） 072-868-2190
- つくしんぼ藤阪 072-868-2191
- たんぼぼ藤阪 072-868-2197

鍼灸接骨院 つぐみ 072-836-8280

医療法人 みどり会

- 中村病院 072-868-2071
- 地域医療相談室 072-868-2071
- 中村記念病院 072-868-2070
- なごみの里 072-868-2072
- ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
- サテライトなごみの里 072-818-2071
- デイサービス長尾の里 072-818-2071
- たんぼぼ長尾 072-868-2195
- 訪問看護ステーション 072-868-2071
- 訪問介護ステーション みどり 072-868-4392
- 枚方市地域包括支援センターみどり 072-845-2002
- みどり保育所 072-850-7550

—— 編集後記 ——

企業における体質強化というと、年報にも掲載しておりますが、運営方針への計画達成、個々の研修による基礎能力向上、現場重視の改善活動等がありますが、私の場合はその前に自己体力の維持向上という課題があります。まだまだ元気だとは思ってはいるのですが、ぎっくり腰を起こしたりすると、車通勤だと余り運動する機会もないとか言い訳することが多くなり、やはり積極的に普段の生活改善を図らなくてはと思う今日この頃です。

そこでこの秋を機に一念発起して運動プログラムを専門の方に立てていただいて週末をベースに週3回を目標にまず少しでも体を動かそうと努めております。どこまで続くことかと心配ですが頑張ってささやかなチャレンジで職場に迷惑をかけないようにしたいものだと思っております。

みどりの風発行委員会
連絡先 ☎072-868-2071 法人本部 松田